

2023年度春季関東大学バレーボールリーグ戦 大会運営ガイドライン

I. はじめに

本ガイドラインは新型コロナウイルスなどの感染症拡大における大会開催の際の取り組みについてまとめたものです。本リーグ戦は2か月もの間開催されるため、大会会場だけではなく日常生活や練習の段階から十分注意する必要があります。参加者や関係者の安全を最優先に大会に運営して頂くようお願い致します。

リーグ戦を開催するにあたり、公益財団法人日本バレーボール協会による「大会運営ガイドライン新型コロナウイルス感染防止対策」を遵守します。

本資料は、大会参加者及び大会運営者は熟読するようにしてください。

また、新型コロナウイルスに対する対応は変化しますので、本ガイドラインも適宜更新される可能性があります。

II. 感染リスクについて

「2023年度春季関東大学バレーボールリーグ戦新型コロナウイルス対応指針」を参照のこと

III. 大会の開催について

【大会開催・中止判断について】

大会開催条件

- ・参加チームのエントリーが正規にされていること。
- ・参加チーム及び会場で感染症対策が十分に行われていること。
- ・運営代表者及び参加者が本ガイドラインを遵守していること。

大会中止判断

- ・学連役員及び競技委員会が続行不可と判断した場合は中止とする。

IV. 大会関係者のコロナウイルス感染症対策について

(1) 関係者全体

主要な方針としては

- ① 体調不良者は参加しない
- ② 疑いがある場合はすぐに検査を受ける
- ③ 感染リスクのグレード付け*を開始
- ④ 換気を重視し、接触感染対策は必要最小限とする

【大会期間時の対応】

4月8日(土)～5月28日(日)(大会期間中)の体調不良者(検査結果待ちも含む)、また感染症発症者(新型コロナウイルス、インフルエンザ等)が出た際、出場停止条件に該当する場合、下記報告窓口へ速やかに報告すること

報告窓口 (一財)関東大学バレーボール連盟 感染症対策窓口 [mail : health@juvf.jp](mailto:health@juvf.jp)

※感染者が確認された場合、その確認当日に学連の各部担当者から使用会場の事務局及び対応窓口にご連絡致します。

【会場入場時について】

- ・入場の際には必ずマスクをしていること。
 - ・入場したら、受付に行き検温を済ませること。
 - ・検温を済ませたら速やかに、自チームの待機場所へ向かうこと。
- ※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

○会場入場時に体温が37.5度以上あった対象者に対しては以下の通りとする。

- ①再度体温を測り直し、それでも37.5度以上の場合、会場に入場させないこと。
- ②一緒に来場した選手等関しては、症状がない場合は入場を認める。発熱者と濃厚接触の可能性のある者は、発熱者の検査の結果が出るまでは特に慎重に経過を観察し、他者との接触など十分に注意すること。
- ③医療機関を受診し診察を受け、受診結果を学連まで報告すること。

(2) チーム関係者

【会場入場者の制限について】

- ・当日会場に入る事が出来るチーム関係者に制限を設けない。
 - ・他チームのデータ収集について、制限を設けない。
- ※データ収集については、感染症対策に十分配慮しながら行うこと。

【入場・退場について】

- ・第1試合の入場時刻のみ設定し、その他の入場時刻、退場時刻は設定しない。
- ※感染対策上、2試合目以降のチームは入場予定時刻を学連員に事前に伝えること。
- ・会場によっては、入場時刻、退場時刻を設ける場合がある。

【試合時の注意事項】

- 原則、全員マスクを正しく着用すること(不織布のマスクを推奨とする)。
- ※例外として認めるのは、監督(試合中のみ)及び控え選手を含むベンチメンバーのみとする。
- ※試合を行っている選手についてはマスクを着用してもかまわない。
- ギャラリー席では、必ずマスクを着用すること。
- ※ギャラリー席では、マスク着用の上発声を伴う応援を認める。
- 控え室及びギャラリーは、各チーム割り当てられた場所を使用すること。
- ※それ以外の場所を使用したい時は、学連に相談すること。

- ・使用した座席、場所は可能な限り消毒を行うこと。
※使用した場所は最後まで責任を持って、処理をすること。
- ・ゴミは会場に捨てずに、各自で必ず持ち帰ること。
※鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。

【控え室、更衣室等の使用方法】

- ・密集しないように、各チーム少人数で使用すること。
- ・ゴミなどは残さず、可能な限り使用したところを各自で消毒すること。

【競技上の注意事項】

- ・待機場所は必ずギャラリーの指定された場所か、指定された控え室で待機すること。

ウォーミングアップはスペースがあっても行わないこと。

※指定された場所でのストレッチのみ可とする。

- ・ベンチスタッフ及びモッパーは必ず、人との距離を取ること。
- ・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。(ネット付近に集まり、握手などはしない)
- ・応援者は間隔をとり、マスクを着用すること。
- ・フロア開放時は、入り口の混雑を防ぐこと。

《第2試合目以降のチーム》

- ・第2試合目以降のチームは受付で検温終了後、速やかに待機場所へ向かうこと。
- ・前の試合が終わっても、フロア開放の指示があるまでギャラリーで待機すること

【試合終了時の注意事項】

- ・終了後の換気・消毒作業中は試合チームのクールダウン時間とする。
- ・学連からのフロア撤退のアナウンス後は一斉にコートから出ずに、出入り口の3密を防ぐこと。
- ・ミーティングを行う際は、3密を避けて行うこととする。
- ・試合終了後、残って試合を観覧する場合は、必ずマスクを着用し、指定された席で座って観覧すること。
- ・ゴミは会場に捨てず、各自で必ず持ち帰ること。
※鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。

(3) 企業関係者

- ・入場時刻については各試合開始30分前からとする。
- ・受付にて、検温・IDを受け取り会場へ入ること。
- ・チームの待機場所以外の場所でマスクを着用し試合を観覧すること。

(4) 報道関係者

- ・受付にて、検温し会場へ入ること。
- ・入場時刻については各試合開始30分前からとする。
- ・インタビューをする際は、マスクを着用の上、十分な距離を保ち行うこと。

(5) 審判員

- ・ミーティングの時間は試合開始時刻の1時間前とする。
- ・ミーティングを行う際には、3密を避けて行うこと。
- ・可能な限り、主審・副審を派遣して行うが、派遣が難しい場合は、補助役員に該当する。チームの有資格者が審判を担当することもある。
- ・審判を行う者はマスク必須とする。
 - それぞれ以下のように対策、対応を行う。
 - 主審・副審 → 笛の上からマスクまたはホイッスルカバーをすること。
 - ラインジャッジ → 各大学がフラッグを持参する。
 - スコアラール → 各大学で筆記用具（青ペン・定規・修正・シャープペン・消しゴム等）を持参すること。接触箇所（机、椅子、PC、マウス）においては、試合間に消毒を行うこと。
 - ボールリトリバー → 手袋を着用し雑巾を使用して、ボールの拭き取りを常時行うこととする
 - クイックモップ → 手袋を着用し、各チームで用意した雑巾を利用し汗の処理を行う。

(6) 観客

- ・各会場により観客の有無は検討する。
- ・入場時刻は第1試合開始の30分前からとする。
- ・会場内では、マスクと受付で渡されたIDを身に付けること。
- ・指定された席に座り、利用した座席を記録しておくこと。
- ・会場内でチーム関係者との接触は指定された場所のみで行うこと。
 - チーム控室、待機場所は立ち入り禁止。
- ・マスク（原則として不織布マスク）を着用した上での発声を伴う応援を認める。
- ・体調に違和感がある場合 health@juvf.jp（感染症対策窓口）に早急に連絡を入れ、病院へ受診すること。受診した際には再度診断結果を報告すること。

V. 運営者の対策

(1) 会場入場及び受付時

- ・大会参加者の検温の実施
- ・入り口の常時開放を積極的に行い、換気に努める
- ・各種許可証の貸出禁止（企業IDはリーグ開始前・使用後に毎回消毒する）
- ・第2試合目以降のチームが入場し始めた際、控え場所（待機場所）の声掛けを行う
- ・第2試合目以降のチームがウォーミングアップを行わないよう、受付で声をかけ、必ず、待機場所での待機を促す。

(2) コート設営・試合設定

- ・1コート最大6チームの使用とする

| | 入場可能時刻 | フロア開放時刻 | 試合開始時刻 |
|-------|--------|---------|--------|
| 1 試合目 | 8:45 | 9:15 | 10:00 |
| 2 試合目 | | 11:45 | 12:30 |
| 3 試合目 | | 14:15 | 15:00 |

- ・入場時刻を設定する会場では、第2試合目のチームは11:30、第3試合目のチームは14:00を入場可能時刻と定める。

(3) 競技運営時

- ・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。(ネット付近に集まり、握手などはしない)
- ・ウォーミングアップエリアは、会場によって異なるが、最低でも16㎡以上の空間を作ることとする。(控え選手が密集しないようにする為)

(4) 競技終了後

- ・試合終了後、速やかに次の試合についてのアナウンスを行う
- ・使用した消毒用具・ビニール手袋等をまとめ、別途ゴミ袋に捨てる。
- ・試合後の手洗い・消毒の呼びかけを行う
- ・補助役員に手伝ってもらい、ビニール手袋を着用し消毒作業を行う。
(点示・ボール・モップ・審判台・ネット・机等、その他使用した箇所) その間、次の試合のチームをフロア内には入れてはいけない。

(5) 控え室・更衣室等の設置方法

- ・選手が使用する控え室の大きさにより、人数を制限し密集させないようにする
- ・常時、開放できる窓やドアを開けておく。
- ・学連が消毒液を設置する。

(6) 会場の環境整備

- ・会場の出入り口、フロアの出入り口等に消毒液の設置
- ・トイレ・手洗い場に石鹸・ペーパータオル・ペーパータオルを捨てるゴミ袋の設置
(時間を決めて定期的に交換を行う)
- ・使用する部屋のドアノブ、机、椅子やギャラリーの手すり等、共同使用部分は定期的な消毒を行う
- ・ゴミを扱う際はビニール手袋を必ず着用の上、処理を終えたら手洗い・手指の消毒を行う。
- ・会場の動線を作成し、選手関係者と観客が混在しないように心がける。無観客の場合も動線を作成する。

VI. 移動及び食事時について

(1) 個人での移動について

移動の際は、個人単位での予防対策を徹底してください。

- ・公共交通機関の利用では、混雑を避け、会話を控える等の工夫を行うこと。
- 車での移動においても車外に出る際にはマスクの着用する等注意すること。

(2) 食事について

座席を開け、正面の配席を回避すること。また、食事は一人ずつ取り分けた状態で用意し食事の会話は控えるようにすること。

参考文献

●公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」

https://www.jva.or.jp/pdf/covid19_guide_JVA2020.pdf

「大会運営ガイドライン」

●独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター

「新型コロナウイルス感染症対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/resources/hpsc/katudouaikaiguide.pdf>

●一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン」

https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_9th_20210210.pdf

●一般社団法人Tリーグ

「Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo4MMDk2OX0=&detailFlg=1&pNo=1>